

かさま 社協だより

No.7



編集・発行

2009.2.10

社会福祉法人笠間市社会福祉協議会広報委員会 笠間市美原 3-2-11 TEL.0296-77-0730

E-mail info@kasama-syakyo.jp URL http://www.kasama-syakyo.jp/

岩間支所の活動の様子



福祉バザーで福祉車両の取り扱いを学ぶ

笠間支所の活動の様子



善意の衣類をパキスタンへ

友部支所の活動の様子



たけのこ訓練生のもちつき風景

も く じ

- ① 支所特集 地域と共に福祉の活性化 2～3
- ② “社協”ってなあに？ 4～5
- ③ 子どもの時から福祉の芽を ～学校での福祉教育の推進～ 6
- ④ 「中央支部」と「たけのこ」とのそば打ち交流会（友部地区） 7
- ⑤ お知らせ 8

特集 福祉の活性化



平成20年度中の市社協においては、地域に密着した新たな事業がスタートしました。

このことは、より多くの市民が福祉に関心を寄せている結果であり、これからの各地区の福祉活動に大きな期待がかけられています。

岩間支所

上押辺地区社協誕生！

連帯感が希薄化している地域社会において、多様化した生活上の問題など既存のサービスだけで解決することが難しくなっています。したがって、昔ながらの向う三軒両隣の精神で「助け合い」「支えあい」が必要との観点から、地区内の住民組織の連携を密にし「住みよいまちづくり」に向けた活動基盤とするための、地区社協結成の推進を図っております。

そのような折、昨年7月25日その第一号として上押辺地区社協が誕生しました。

上押辺地区社協運営委員長 常井武夫氏・同運営副委員長 常井芳衛氏から、地区社協誕生についてお話を聞くことができました。

「かねてから社協より地区社協を結成されてはどうか、との話はありませんでしたが、前には進まなかった。この度公民館が建て替えられ、区民のみなさんの気持ちの一つになり、地区社協誕生に至ったのです」

運営委員長 常井武夫氏

「地域福祉の推進を組織的に取り組み、維持向上に貢献したいと思います。皆様のご支援、ご協力よろしく願ひ致します」

運営副委員長 常井芳衛氏

「岩間地区の皆さん上押辺地区が一番バツターとしてお先にスタートしました。後に続いて下さる様、お待ちしております」

事業の紹介

●環境(エコ活動)4つの事業

上押辺公民館花植え

ふじやま公園の管理運営

草刈・芝焼き

神社清掃・資源ゴミ回収

●人と人との交流事業

地区大運動会・スポーツ大会

上押辺地区サロン・敬老会

●防犯・防災活動

下校時の見回り巡回

●福祉に関する学習会

組織

運営委員長	1人
運営副委員長	2人
運営委員	9人
会計	1人
監事	1人
役員	15人



おしゃべりサロン シルバー体操のみなさん



大運動会の1コマ

●財源は地区で集まった今年度の社協委員会費の50%が充てられます。(山田)

ボランティアセンター開設

岩間地区ボランティアの長い長い間の念願でありましたボランティアセンターが、この度笠間市役所岩間支所の二階に開設されました。

現在は、社協の援助や支援をいただきながら、ボランティア同志の交流の場と、情報交換の場として活用させていただいています。

これからはボランティアの育成も含めて、この場所が、ボランティアの拠点として大切な場所になっていくものと思います。

(久保田)



ボランティアセンター

支所 地域と共に

笠間支所

配食サービスのご紹介

笠間地区の配食は地域の一人暮らし高齢者で希望する方にお弁当をお届けし、安否確認やお話を伺い、生活上での不安や悩みを、おいしいお弁当とお届けする温かいボランティアのハートで解消しようと活動して



てづくりお弁当の出来あがり

います。

地域での問題を地域で解決する、双方にとってもやり甲斐と生き甲斐になるものです。他に地区公民館などで、敬老の日などに会食（和気あいあいの雰囲気でお食事を）も年に数回行われます。

地域のボランティアがお届けしますが、昨年から大橋地区『あさぼう』と稲田地区『みかげ』の2つのボランティアサークルが、『業者協力の弁当』ではなく温かい『てづくりのお弁当』をお届けする活動に発展しました。実施にいたるまでには勉強会や見学を積極的に行い、より良くしようという向上心のもと新しいかたちでスタートしまし



心をこめて料理づくり

た。これは、笠間市合併が良い活かされ方をした先駆的な例です。
ただ、まだまだ課題もあります。もっと交流と情報共有を活発に行い、より良くするために話し合い活動に反映すること。また、情報だけでない人と人との交流。そしてなにより、多くのボランティアが身近な地域で地道に活動していることを分かっていたら、地域が成り立っている事実をより沢山の方々が知ること。未来の笠間が住み良くなるために当事者意識を持ち、多くの市民が主体的に参加すること。これに、尽きると思えます。
(入江)

友部支所

友部社会福祉会館調理室改修なる



調理室は16.5㎡広くなり配膳台も完備し調理しやすくなりました。



和室の出入口にスロープを付け使いやすくなりました。



配膳口もでき、和室とのいききがスムーズになりました。

なにあに？

No.1

知っていましたか？社協とはどういうところか。どのようなところで、どんなことをやっているのか、社会福祉協議会。略して社協ですが、その仕組みや事業、活動などさまざまなものがあります。

一般的に知られている事業や活動もあれば「エッ、こんな事もやっているの？」と思うようなこともありますので、今回シリーズで皆さんにお伝えしていこうと思います。

(資料 宮城県石沼市社協問答集使用)

社会福祉協議会とは何のために、どうつくられているのか？

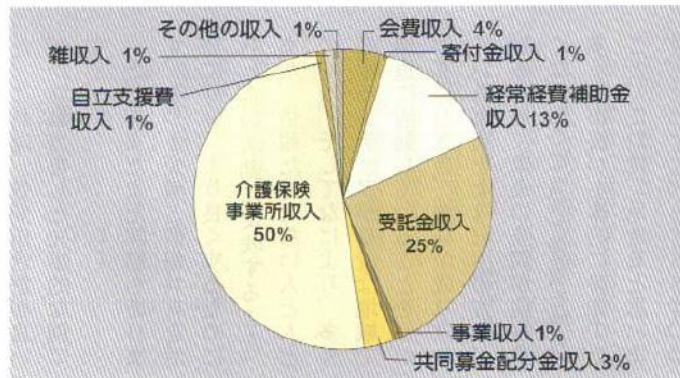
社会福祉協議会（社協）と言うのは、地域社会における福祉の問題を解決し、改善向上を図るため、地域の人々・各種機関・団体等みんなが会員となって参加し、お互いに協力しあい、自主的組織的活動を行うことを目的にした民間の団体で、社会福祉法に基づき全ての市町村に設置されています。

社会福祉協議会の仕事には、社会福祉を目的とする事業の調査・総合的計画・普及宣伝・連絡調整及び助成等の仕事があるため、「社会福祉協議会」は、福祉に関する連絡や協議を主とするかのようなイメージを持たれがちでしたが、平成12年6月の法改正により、従来の仕事に加え、「地域福祉の推進は社会福祉協議会が担う」と明記され、法的には唯一の総合的地域福祉活動を行う公共性の高い民間の福祉団体と言えます。

笠間市社会福祉協議会は、合併により平成18年7月19日社会福祉法人の登記をして、現在に至っております。

財源は？

社協の財源は、会員の皆さんの善意による会員会費の他に、共同募金配分金・市補助金・委託金・介護保険事業収入・その他雑収入が財源に充てられています。その比率は次の様なグラフで表すことができます。



会員会費・共同募金

法人運営費	32%
在宅福祉サービス	68%
子育てサービス	
移送サービス	
地域福祉事業助成	
心配ごと相談	
ボランティア活動	
高齢者福祉活動	
障害児・者福祉活動	
児童青少年福祉活動	
福祉育成・援助	
合計	100%

福祉とは？

一言で言えないくらい、沢山の意味を持っていますが、「しあわせ」と言う意味に近いものと考えていいのではないのでしょうか。福祉と言う語源は快適な生活状態、満たされた生活状態

皆さんからお預かりした会費と共同募金は、法人運営費のほか、大半は、地域福祉活動のために使われており、詳細は右の表になります。

友部支所では以前から会員会費の50%を還元金として各支部の活動費として助成しております。

笠間、岩間支所でも地区、支部社協を確立して、助成金の有効活用が望まれます。

体がいかに裕福であっても、その中で生活する個人が貧しさにあえいでいるようではいけません。福祉の本質は、社会の構成員である全ての人々がそれぞれに福祉が保障される状況の実現にあります。社会生活を送っていくうえで、何か不足すること、欠けている点などのある人に対し、他の人々や行政等が補完し、自立を助長することにあります。



を示すと言われます。したがって「社会福祉」とは、「社会」と言う集団の中で一人ひとりの「しあわせな生活」が実現されることを指すものと考えられます。つまり、社会全



“社協”って

社会福祉協議会は、地域福祉を推進する中核的な団体として、行政、各団体などとの連携を図りながら、市民一人ひとりが住んでよかったまちづくりを目指しています。

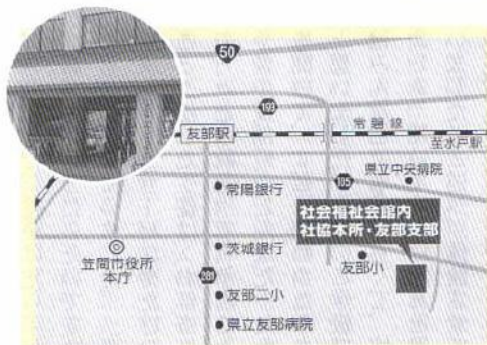
皆さんからの会費は、社会福祉協議会が実施する地域福祉活動に充てられます。

会員となっていたことで、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」に参加する仕組みとなります。

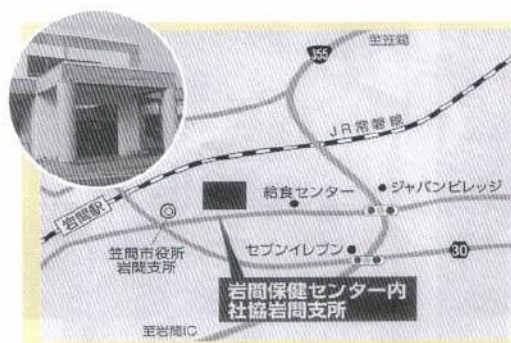
(皆塚・関・福田)



あなたも会員です！



本所・友部支所



岩間支所



笠間支所



(鶴田)

●お風呂場の脱衣所やトイレ・台所などは、体温を下げないように簡易暖房器や加湿器をつけ、風邪をひかないよう予防しましょう。

●体を温める食材（しょうが・しそ・にら・んにく・黒豆・肉類・うなぎ・えび・わかめなど）をとりましょう。

●運動はなるべく室内で行うようにし、無理のない程度に行いましょう。

●首や手や足は冷やさないようにマフラー・手袋・くつ下を活用し、体温を逃がさないように保温しましょう。

●朝は急に起きず、布団の中で少し体を動かしてから起きましょう。

●冬は早めに寝て十分に睡眠をとり、無理して早起きをしないこと。

ちといい話

冬の過ごし方

子どもの時から福祉の芽を 「学校での福祉教育の推進」

市社会福祉協議会では事業の一つとして「福祉教育の推進」を行っています。これは、市内各小中学校及び高校を対象にボランティアを派遣し、福祉体験学習や講演会等を行い、子どもの時から福祉の心を育てようとする事業です。

社会福祉協議会は、学校からの要望に応じ、車イスやアイマスクをしての歩行体験・高齢者疑似体験・点字や手話の学習・更にはディサービスに來所するお年寄りとの交流など、さまざまな体験学習に協力しています。

友部第二中学校では1年生129人が2班に分かれ、7月2日・3日に友部福祉会館を会場にさまざまな体験をしました。

午後会場に到着した生徒達は、それぞれのグループに分かれ、ディサービスに來所した方との交流



ディサービスに來所した方との交流

や作業所「たけのこ」訓練生との箱詰め作業、車イスで段差を登ることやアイマスクをして道を歩行することの難しさを体験しました。また、点字や手話に熱心に取り組むグループもあり、普段学校では学べない大変有意義な経験をしました。

車イスを体験した生徒は「段差がある所は持ち上げるのに大変だということが分かりました。小さな段差でも、乗っている人が危なくないようにするため、とっても苦労します。一人では

できないので、見かけたら手助けができるようにしたいです」と感想を述べていました。

また、ディサービスやたけのここと交流した生徒は「お年寄りの方々とふれ合って戦争のことや昔の友部町がどんなだったかを聞いて、すごく変わったなあと思いました。たけのこ学級ではみんなとても仲が良く、協力あつていてすごいなあと思いました」と述べ、体験させていただいた事に感謝していました。

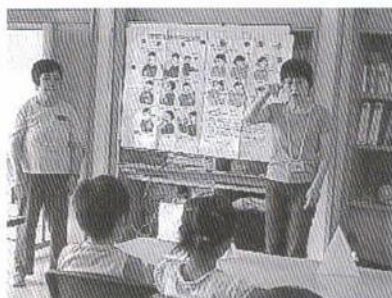
わくわく体験教室

各支所では、夏休みにボランティアの方を講師に「わくわく体験教室」が行われました。

学校での福祉体験とは違い、自分から希望して参加した子供達はゆとりある時間のなかで意欲的に取り組んでいました。



車イス体験



手話



工作



手づくり



疑似体験



点字



クッキーづくり

「中央支部」と「たけのこ」の

そば打ち交流会

さる12月4日、恒例の「たけのこ」と中央支部・「お達者倶楽部（友部地区の皆さん）」との「そば打ち交流会」が行われました。

今年は、前もって注文しておいた「常陸秋そば」を使って「そば作り」をすることにしました。

まず、そば粉と打ち粉を計り指先でそれをよくかき混ぜる作業です。次に、水を少しずつ入れ、おから状になるまで、まん

べんなくかき混ぜ、固まりになったら一つにまとめる。打ち粉をふり、めん棒を使って均一にのす。うすくのした生地を好みの太さに切っていました。

「たけのこ」の訓練生たちも、支部の皆さんたちのアドバイスを受け、慎重に楽しそうに作業を進めていきました。

そばがゆで上がって、会食の時間となり、「たけのこ」訓練生や「お達者倶楽部」の皆さんは、おいしそうに召し上がっていました。（鶴田）

「たけのこ」訓練生の感想

支部の皆さんと一緒に打ったおそばはとてもおいしかったです。天ぷらとけんちん汁もおいしくてお代わりしました。いつもありがとうございます。

なかなかうまく切れないな～



地域活動支援事業



元気に作業に取り組む訓練生たち

生きがい活動

通所支援事業

「お達者倶楽部」

笠間市社会福祉協議会友部支部内の一階左奥に「お達者倶楽部」の部屋があります。

概ね65歳以上の一人暮らしの高齢者（介護保険制度において認定された方は除く）を対象に、福祉会館で趣味・活動など通してみんなで楽しく一日を過ごしていただき、いつまでも元気で生活ができるよう、また要介護状態への進行を予防するために進めている事業です。

「たけのこ」

笠間市保健福祉センター内の左側の一角に、地域活動支援事業（心身障害者作業所）「たけのこ」の教室があり、心身に障がいのある方が作業所に通って作業訓練・生活訓練・レクリエーションなどを行い、自立と社会参加を目指しています。

「たけのこ」に通所できる人は笠間市内に居住し、15歳以上の障害者手帳ならびに療育手帳保持者で、現在21人の訓練生が通所しています。教室には一日の日課が掲示され、習字や

平成20年度は、33人が元気に通所し、週一回みんなと楽しいひと時を過ごしています。



新年会での風景

お達者倶楽部

対象者	概ね65歳以上の一人暮らし高齢者（介護保険を使っていない方、認定された方は除く）	利用料金	1回500円（食事送迎つき）
実施日	毎週月曜日～金曜日 各6名 午前10時から午後3時30分 月曜日 北川根地区 火曜日 大原地区 水曜日 矢野地区 木曜日 友部地区 金曜日 友二小地区	事業内容	・健康チェック ・生きがい活動（手芸、おり紙、陶芸教室など） ・子ども達との交流 ・市外研修・各種ゲーム ・食事会・健康体操など
		問い合わせ先	市役所高齢福祉課 電話77-1101 内線（338）

料理、身の回りのことや作業などの実習が行われ、また、四季折々の楽しい行事も計画されて訓練生の励みになるよう考えられています。毎月「たけのこだより」が発行されて、父母、訓練生、施設とのコミュニケーションが図られています。



善意の寄付を「あいがとう!!」(善意銀行預託)

平成20年8月1日～平成20年12月31日まで(順不同・敬称略)

物 品

秀芳会笠間支部	使用済切手1580枚
笠間郵便局	使用済切手、テレホンカード
海老原 律夫	ポータブルトイレ、シャワーチェアー、紙おむつ
(有) グリュイエール	使用済切手
茨城県退職公務員連盟笠間支部笠間分会	未使用タオル245本
塩田 順一	使用済切手
飛田 文雄	使用済切手
岡本興業(株)	使用済切手
藤岡 武夫	米
大槻 トヨ子	紙おむつ
株式会社コーエーデンキ笠間店	使用済切手
田村 高子	まくらカバー
笠間市稲田小学校	使用済切手2324枚、使用済プリペイドカード(デレカ、他)800枚
谷中 信也	使用済切手
中村 正三	野菜
太田 典男	お花
郷谷 邦子	広告紙のくず箱 大750 小100
入江 巳代	タオル、使用済切手、未使用ハガキ
笠間高校ボランティア委員会	バンジー17プランター
美容室リバーズ	ベットボトルキャップ
茨城県ガールスカウト第30団	フルタブ5キロ
山田 こう	アルミ缶、フルタブ
田崎 敦生	使用済切手
笠間市観光協会	使用済切手
茨城県ガールスカウト第5団	アルミフルタブ9kg
豊村 ふみ江	雑巾20枚
茨城県退職公務員連盟笠間支部友部分会	タオル231枚
いっぽの会	使用済切手222枚
茨城福祉工場	ベットボトルキャップ多数
田山 ひさ	雑巾88枚
株式会社 近未来ワールド	車椅子3台
浦井 和夫	ベット1台
バチンコ将軍	使用済切手約4000枚
高齢者くらぶ原宿会	雑巾多数
笠間市立友部小学校	ベットボトル多数
ありんこ	未使用ハガキ120枚、切手12,064円分
水戸ヤクルト販売(株)	輪投げ12セット
第一生命労働組合	未使用タオル238枚
笠間市まちづくり実行委員会	かるた7セット
富士寿友会	雑巾100枚
豊田 とら	雑巾65枚
友部 榮	使用済切手
(株) フードサプライジャスコ	クリスマス菓子詰め合せ113個
渡部 悟平	業務用大型蒸し器
永田 ふくい	野菜多数
久保田 満子	れんこん、うり、なす、きゅうり、にら、とうがん等、野菜多数5件
下安居防火クラブ	フルタブ多数
美留町 文男	梅干多数
茨城県退職公務員連盟笠間支部笠間分会	タオル115枚
笠間第三小学校	使用済テレホンカード
大藪 和子	古切手多数
山田 具	きゅうり、なす、とうがん、ねぎ等、野菜多数10件
小島 さと	とうがん7個

森谷 藤雄	白米60キロ、車椅子
ファミリーマート友部東平店	使用済クオカード1075枚
茨城中央農業協同組合笠間支店	使用済切手多数
橋 さと江	八つ頭、みつば多数
笠間地区 更生保護女性会 笠間支部	タオル100本
大野くら	雑巾50枚
匿名	紙おむつ 4件
〃	未使用タオル 3件
〃	使用済切手 6件
〃	米30kg、油、鰹節 1件
〃	白菜 1件
〃	車椅子1台 1件
〃	米60kg 1件
〃	里芋、さつまいも多数 1件

金 銭

笠間の祭り実行委員会 灯ろう部会	2,320円
白木屋	20,076円
稲川 悦子	20,000円
財団法人日本ボールルームダンス連盟	20,000円
笠間根っこ会	12,976円
笠間市体育協会 スポーツダンス部	10,000円
笠間市ゲートボール連合会	14,835円
天野 昌子	100,000円
茨城県立笠間高等学校 生徒会	39,756円
ツバメの会	3,202円
藤井 都	550円
常陽銀行 笠間支店 職員一同	15,000円
パシフィックスポーツプラザ笠間	27,017円
野口 貢	250,000円
福祉映画会	173,810円
笠間地域雇用対策協議会	273,534円
サマーフェスタ実行委員会	20,000円
笠間市チャリティーゴルフ大会実行委員会	174,651円
コロナの会	11,800円
鶴田 歌子	100,000円
青葉町ゴルフ同好会	10,539円
伏見 喜久子	5,000円
みとしん第五ブロック年金友の会黄門会	10,000円
友部読書会連合会	70,000円
飯田 親男	1,940円
J A 茨城中央花き部会	20,000円
笠間市ボランティア連絡協議会友部支部	30,000円
常井 幹代	3,269円
(財) 合気会茨城支部道場	40,026円
源辺酒店	11,175円
笠間地区議会OB会	24,868円
小磯芳枝	250円
大野くら	3,189円
スナック オクターブ	107,615円
匿名13件	123,603円

空アルミ缶回収の

おれとお願ひ

作業所あおぞら

市社協笠間支所では、心身に障がいのある方が自立した生活が出来るよう励んでいる「作業所あおぞら」があります。

近年作業の受注が少なく、収入が減少し日常必需品にも不足する状態です。そこで皆様に空アルミ缶の回収をお願いしましたところ、昨年4月～10月までに1.5tを引渡しすることができ、その代金は訓練生の作業衣など必要品購入に全額充当させていただきました。

皆様からのご協力に心から感謝しお礼を申し上げ、今後とも回収にご協力よろしくお願いいたします。

編集後記

新しい年を迎え発行される第7号から、皆様により親しまれ、愛読していただける社協だよりとするため、題字・内容など新しい企画で編集されることになりました。社協の仕組みや事業など、また、健康体操や学校関係の福祉体験も掲載して情報提供できるよう努めてまいります。皆様のご支援・ご指導よろしくお願ひいたします。

(山田)